

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)

併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究

分担研究報告書

糖尿病からみた認知症の有無と重症度の検討、糖尿病と認知症の文献検索

研究分担者 田村嘉章 東京都健康長寿医療センター
糖尿病・代謝・内分泌内科 専門部長

研究要旨

糖尿病からみた場合の認知症の有無と重症度、併存疾患の管理状況についての実態調査、および糖尿病と認知症に関する論文検索を行い、「認知症者の糖尿病管理の手引き」を示す。

A. 研究目的

「認知症者の併存疾患管理の手引き」作成をゴールとし、糖尿病からみた場合の認知症の有無と重症度、併存疾患の管理状況につき、実態調査を行う。

B. 研究方法

糖尿病患者における認知症の頻度・重症度、および治療・管理の状況(治療薬等)を調査し、認知症の存在と重症度(MMSE/HD S-R、Barthel Index等)が疾患管理に与える影響を解析する。また「手引き」作成のため、糖尿病と認知症に関する論文検索と既存のガイドライン調査を行い、エビデンスと関係指針の記述を取りまとめる。

(倫理面への配慮)当院での日常臨床のデータに基づく調査であり、倫理的面の問題は無いと判断する。

C. 研究結果

当院外来に通院の高齢糖尿病患者288名を解析。42名(14.6%)がMMSE \leq 23点で認知症に相当した19名は \leq 20点で中等症

以上と考えられた。平均HbA1cは7%。インスリンの使用者で認知症の頻度が有意に高かった(30.4%, $p=0.001$)。

過去10年の英文/邦文の糖尿病と認知症に関する文献検索を行い、283件がヒットし、うち102件が精読対象となった。薬剤と認知症発症の関連に関するものが最多だった。ガイドラインでは、高齢者糖尿病診療ガイドライン(2017)において、認知症の重症度において血糖コントロール目標変えることを推奨している。

E. 結論

通院糖尿病患者における認知症有病率は地域住民と同等だった。認知症患者でインスリンの使用率が高かった。糖尿病と認知症に関する報告は非常に多く、今後精読を進める。ガイドラインで認知症の重症度において血糖コントロール目標変えることを推奨している。

G. 研究発表

1. 論文発表

Tamura Y et al., J Diabetes Investig

12(4):633-640, 2021.

Tamura Y et al., Front Aging Neurosci

13:712385, 2021

2. 学会発表

田村嘉章「糖尿病における認知機能障害
における薬物療法の注意点」第63回日本
老年医学会学術集会

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

2. 実用新案登録

3. その他

いずれもなし。